（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	キッズすてっぷ　とうひ

公表日　令和７年　12　月　15　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		動線を考えて、スペースの見直しや整理をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		基準に基づいた配置が適切に出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関に階段や段差があるが、見守りや補助を行い、安全に留意している。	職員が必ず声かけ・付き添いを行い、安全確認を徹底している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		換気や室温調整、清掃を行い、適宜、消毒をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングで、目標設定と振り返りを行い、よりよい支援を目指している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表や面談時などのご意見やご要望を業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングで、活発に職員の意見交換を行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		外部評価の代替として、自己評価結果の職員間共有や保護者アンケートを実施し、業務改善に努めている。　（未記入：3）	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職員が積極的に研修を受けて、スキルアップを図り、情報を共有している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントを行い、ニーズや課題を分析した上で個別支援計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		日々のミーティングや支援会議などで共通理解を図り、最善の利益を考慮し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		会議を行って計画書を作成し、計画書内容は職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントツールを用いて、確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援内容を踏まえて具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティングで職員全員が意見を出し合い、子どもの様子を共有しながら活動内容を決定している.	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節行事や外出活動を取り入れ、子どもたちが楽しめるように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別支援計画に基づき、集団内でも個々に合わせた関わりを意識している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングを行い、その日の活動内容と担当を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		活動後に子どもの様子を簡潔に共有し、気づきを翌日の支援に活かしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日記録し、検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを実施し、保護者にも共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を意識したプログラム構成を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動の選択肢を提示し、自分で選ぶ環境を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者がケース会議や支援会議に出席している。状況に応じて、保育士や療法士も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		学校や相談支援専門員と連絡を取り、支援方針を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		連絡帳や電話、アプリなどで下校時刻やトラブル時の情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		利用開始時に関係機関から情報を引き継ぎ、支援計画に反映している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	面談等で家庭と連携し、支援内容を共有し、必要に応じて情報提供を行っている。 （未記入：1）	家庭での様子や意見を取り入れる「双方向の共有」を意識していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6		児童発達支援センターや相談支援事業所と情報交換を行い、助言をもらう機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	地域行事への参加を通して地域交流を実施している。 （未記入：1）	人見知り等の状況に配慮し、無理のない範囲で安心して交流できる機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		地域での協議会に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時等に状況をお伝えしたり、面談時に成長や課題を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	地域で行われているペアレントトレーニングや研修会の情報提供を行っている。また、必要に応じて、助言を行っている。	職員研修等を通してペアレントトレーニングの基礎知識を学び、家庭支援に生かせるようにする。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約・更新時に資料を用いて説明を行い、質問に応じている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援計画作成時に保護者面談を実施し、意向や要望を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		計画内容を説明し、保護者の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期面談や送迎時に保護者の相談を受け、必要に応じて助言している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	地域交流の情報提供を行っている。事業所での交流会開催に向け準備を進めている。 （未記入：2）	今月交流会を開催予定で、今後も保護者が参加しやすい機会を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		要望には丁寧に対応し、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。 （未記入：2）	苦情はないが要望は随時いただいている。今後も意見を伝えやすい雰囲気づくりと周知を行い、より良い支援につなげていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		行事予定や支援内容をお便りやブログで定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		特性に合った対応を心がけ、情報伝達のための配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	事業所の行事への招待は行っていないが、地域行事への参加や地域清掃等を積極的に行っている。	地域行事や清掃活動を通して地域と関わっている。今後は地域との交流機会をさらに広げていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを作成し、周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、避難訓練を定期的に実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		ご契約時に必ず保護者から服薬状況を聞き取りし、服薬情報を一覧で作成・職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用開始時にアレルギーの有無を確認し、情報を全職員で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		安全計画をホームページで周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		全職員で事例共有を行い、再発防止策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修に参加し、事業所での周知研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に、身体拘束の有無や対応方針を説明し、保護者の同意を得ている。また、職員間で事例共有や研修を行い、予防的支援を整えている。	